

データに基づく診療の実現に向けて ～慢性腎臓病におけるLTEP活用による治療体験変革を例に～



演者

五百川 彰仁

株式会社Welby
セールス&ビジネスクリエイティング部
シニアエグゼクティブアドバイザー

データ駆動型社会が現実のものとなりつつある今、PHR（Personal Health Record）は、単なるライフログの蓄積にとどまらず、患者中心医療を社会に定着させていくための重要な基盤として位置づけられています。医療データやライフログ、マイナポータル等の情報を生活者自身が主体的に扱う時代において、PHRをどのように活用し、患者中心医療をいかに進め、継続していくのかは、医療・ヘルスケアに関わるすべての関係者にとって重要なテーマです。

Welby Lunch Sessionは、こうした問いに向き合うために継続的な知の発信源として、過去2年間で計22回開催してきました。医療・ヘルスケア領域の第一線で活躍する登壇者とともに、PHRと患者中心医療を実践へと進めるための考え方やプロセス、体制、価値観を共有してきました。知見や論点をアップデートし続けるシリーズとして、理念にとどめず、現場での実装につなげるための視点をお届けします。

高血圧、脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病においていかに患者さんの治療アドヒアランスを高めていくかということと共に、合併症発症等の重症化リスクの高い患者を早期に検出し、治療介入することで重症化を防いでいくかは生活習慣病診療において重要です。WelbyのPHRサービスは患者さんの血圧、体重等の自己記録に加え、マイナポータル連携や血液検査・尿検査等の外注検査結果連携をすることで、PHRでデータを一元管理することが可能になってきています。

第30回は、Welbyマイカルテ・MeDaCaのLTEP（※）を題材にしたデータに基づく患者体験の変革について具体的なイメージをお伝えしつつ、他の疾患シュミレーション機能も含めてどのような理想像を提供しようとしているのかお話しします。

※LTEP（Long Term eGFR Plot）：腎機能の数値を示すeGFRの過去の検査結果から、今後のeGFRの推移を予測・可視化できる機能

日 時

**2026年 9月 25日（金）
12:05 ～ 12:55**

場 所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2026年 9月 24日（木）17:00まで

お申込みは**下記の二次元コードを
クリック**または**読み取り**ください

